



加治丘陵だより

平成19年7月1日

第 8 号

NPO法人
加治丘陵山林管理グループ

E-mail iruma@npo-kajikyuryo.net URL <http://npokajihozen.seesa.net/>

第5回通常総会の開催

6月17日(日)市民活動センター3階ホールにて開催。出席会員70名、書面表決会員85名、合計155名で正会員総数221名の過半数により成立。山西素直副理事長の司会、砂川英昭会員が議長に選出され議事に入った。第1号議案、平成18年度収支計算書(案)並びに第2号議案、貸借対照表(案)及び第3号議案、財産目録(案)は原案通り可決。収入実績5529千円。つづいて第4号議案、創立5周年記念事業の一部変更(案)は当初予算の80万円から50万円に事業費を減額し了承された。第5号議案、定款の一部変更(案)は事務所の移転及び副代表理事を3名から5名に変更することを決議。更に第6号議案、役員改選(案)は、小沢盛久理事長が辞任を表明し、併せて粕谷義久、菱川浩次理事の退任、新たに森山弘、吉野行男、宮寺茂子各理事就任を決議し、新理事長に清水徳三理事が就任、了承された。19年度活動計画10万㎡、収入予想5462千円。

今年度は、入間市より無償整備地区の提供を受け、他の加治丘陵グループと同様に、ボランティアとして新たな事業活動を進める方針。約4000㎡を予定している。



創立5周年記念講演会の開催



総会終了後に開演。講師は武蔵野音大管理部環境保全室長、入間市写真連盟会長の小林五郎先生。「加治丘陵の40年」と題し、約45分間熱弁をふるわれた。先生は音大入間キャンパス着工当初から加治丘陵に親しまれ、多くの動植物を愛されてきた。今回は特別に「マツノザイセンチュウ」の実物をお持ちいただき、顕微鏡でなくては見られない虫で、一匹のマダラカミキリに15~20万匹が寄生しているという。これが我々が知るマツクイムシだ。

講演では、当グループ活動の役に立つことが多く、マムシに噛まれたら噛まれた局部の元を縛り、血液を吸い出し吐き出す。血管の中に毒が入ると危険だが、口中に少し位入っても問題ない。3日で肩まで、5日でピーク、その後腫れはひく。原田病院に血清あり。血が止まらないのも特徴で早めの処置が必要。スズメバチに脳天を刺された死亡例があり、地上にも巣を作るので、作業前に周辺の点検が必要。襲う時はカチカチと音をたて、猛スピードでぶつかってくる。素早く避難して周囲へ知らせることや、帽子、長そで上衣、手ぶくろ等白色系が無難といわれる。実践的な内容で大変有意義であった。(大山)

新理事長就任あいさつ

清水徳三



深緑のさわやかな時期、第5回通常総会も無事終わり、今年は5周年を迎えた中で、イベントや森林研修等の計画を担当の方がいろいろと考えています。今年も楽しい思い出になるよう、加治丘陵の森を守りながら活躍して行くつもりです。

今年度も前年度並の活動面積になる予定で、会員の皆さんも作業活動に励んでいく事と思います。

市民の大切な財産を守っていくには、一人でも多い参加を願っています。これは行政、市民が一体となって育てて行かなくてはなりません。ぜひともご支援を賜わりたくお願い申し上げます。

前理事長あいさつ

小沢盛久

平素は加治丘陵山林管理グループの活動に格別のご支援ご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

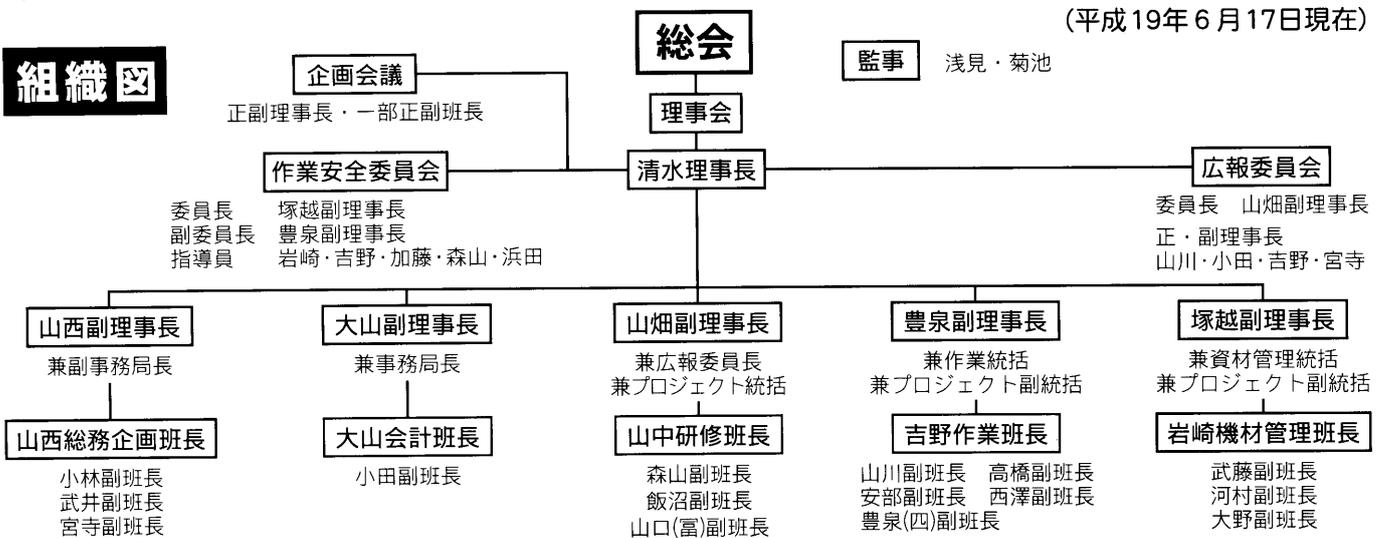
私は、第5回通常総会をもちましてグループの代表を退任させて頂くことになりました。顧みますと、任意団体を平成14年に立ち上げてから本年で5年を経過し、その任に当らせて頂きました。その間、会員の皆さま、当グループにご賛同頂いた賛助会員、また助成金団体の方々にも多大のご支援を戴き誠に有難うございました。これまで市民活動の進め方も分からず試行錯誤を繰り返しながら、皆様方のご協力に依り活動も順調に推移してまいりました。重ねてお礼申し上げます。

今後共新代表を中心に変わらぬご支援、ご協力を切にお願い申し上げご挨拶といたします。

新役員紹介

 理事長 清水徳三	 副理事長 兼プロジェクト統括 兼広報委員長 山畑 博	 副理事長 事務局長 会計班長 大山 博	 副理事長 副事務局長 総務企画班長 山西素直	 副理事長 兼資材管理統括 兼プロジェクト副統括 塚越克夫	 副理事長 兼作業統括 兼プロジェクト副統括 豊泉 功	 理事 作業班副班長 西澤久男	 理事 広報委員会委員 会計班副班長 小田稠夫	
 理事 作業班副班長 山川英男	 理事 機材管理班長 岩崎幸一	 理事 総務企画班副班長 小林貞治郎	 理事 研修班長 山中洋忠	 理事 作業班長 吉野行男	 理事 研修班副班長 森山 弘	 理事 総務企画班副班長 広報委員会委員 宮寺茂子	 監事 浅見鉄之助	 監事 菊池 誉

組織図



要注意!!!



毒蛇にかまれたら・・・

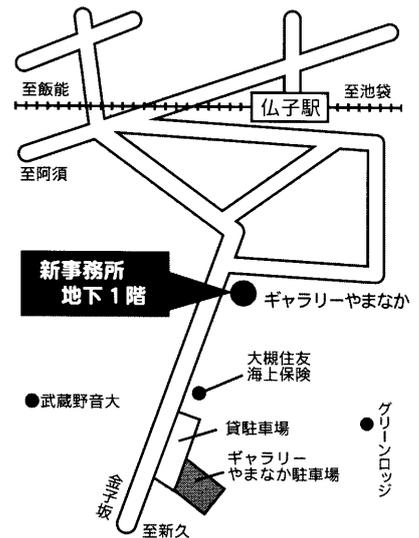
心臓に近いところを強くしばっておき、かまれたところを切って毒を吸い出すか、しぼり出す。(秋口注意)

ハチに刺された時・・・

針が残っていたらすぐ抜き取り冷湿布する。(ハチは黒い服装をねらう)

事務所を移転しました

6月、当グループの事務所が扇台から仏子に移転しました。発足以来5年間、扇台の小沢前理事長のご自宅を事務所として使用させて頂いてきましたが、6月17日の第5回通常総会で理事長を退任されたからです。4月初旬退任されることが確認され、急遽事務所を確保する必要に迫られました。勿論貧乏所帯のグループですから、①賃料は出来る限り安いこと(本音は無料) ②5~6台の駐車スペースは必要 ③市の中心部が望ましい等を条件に探しましたが、今時こんな好条件の所などありません。賃料5万円但しトイレ無しとか、今は空き家になっているので少し手を加えれば使えるとか2~3候補地もありましたが、山中洋理事から仏子の「ギャラリーやまなか」の下の階が空いているので提供するとの申し出がありました。空調機は勿論、ウォシュレットまで新規に設置の上、破格の賃料でお借りすることが出来ました。車も6~7台は楽に駐車できます。机・椅子・書類棚等も整備され立派な事務所ができました。理事が交代で事務所当番をし、効率よく活用していく予定です。



住所 〒358-0053 入間市仏子1397-3 電話 (FAX) 04-2932-4515

●●● 創立5周年記念事業の概要 ●●●

昨年の第4回通常総会に提案し承認された、記念事業の総予算80万円は、今年第5回の総会において総予算50万円に修正提案し可決された。

記念事業は、一年間をかけて実施されるもので、6つの事業を予定しており、今年の総会では武蔵野音楽大学の小林先生による『加治丘陵の40年』と題し記念講演が行われた。虻に噛まれたとき、すずめ蜂に刺された処置等たいへん有意義な内容であり今後の作業に活かしていきたい。また加治丘陵に棲む鳥や生物そして風景は永年かけて撮影されたもので、3階の各会議室に展示されすばらしい写真展となった。

また、会員・賛助会員・関係者に配布した記念の手拭いは、『仁者乐山』の4文字が入れられ、これは論語の一節で『知者は水を楽しみ、仁者は山を楽しむ』の意で当グループの目標とする言葉である。

秋に入ると、森林視察の記念旅行、児童を対象に鳥の巣箱作り、締め括りは5周年記念誌の発行を予定しております。
(総括実行委員長 山畑 博)

記念写真展 (創立5周年記念事業)

入間市写真連盟会長小林五郎氏より借用して開催した。加治丘陵の多くの動植物や丘陵の桜山展望台からの日の出、夕やけ、虹など、すばらしい作品を50点展示。多くの会員から絶賛をいただき好評のうちに閉幕した。
(大山)

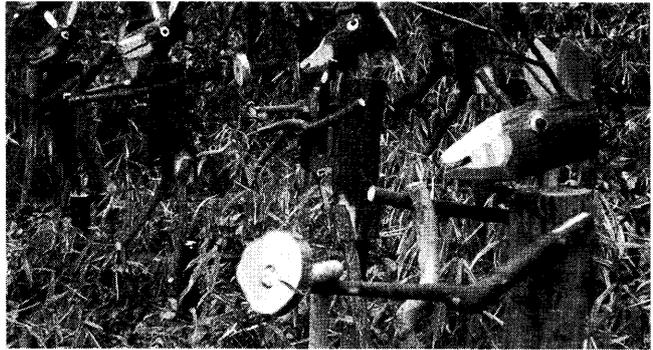
安全講習会 (実施済)

1月24日(水)参加者30人、入間市消防本部署員(5名)の指導により、農村環境改善センター会議室において救急法実技後、隣接の山林に移動して、負傷者応急処置、救急車手配、簡易式担架により、搬送訓練を行った。8人1組で中継リレー、足元の悪い山の斜面を笛のリードで、緊急位置表示板南13ポストに無事到着。終わって消防署員から講評をいただき有意義な訓練を終了した。
(研修班長 山中洋忠)



「森のおんがく隊」が加治丘陵で演奏しました。

『春のさとやま探検隊』が開かれた3月25日(日)、催しに参加した一般市民を動物達のバンド「森のおんがく隊」がお迎えし大喜びされました。ドラムや笛・ヴァイオリンなどを演奏する動物達は、有志の会員が間伐材などを使って作ったものです。子供たちは動物を持って記念撮影をしたりして大喜びでした。



寄稿文 森のひとりごと

拝啓 NPO加治丘陵山林管理グループ様

私は上谷ヶ貫の南真込谷の丘陵林ですが足元の「ひさかき」が繁茂し息苦しゅうございます。それに心ない人もいらしく空カンやペットボトル等を捨ててあります。自然や樹々を愛し、丘陵を散策する大多数の人達、そして私達は大変迷惑しています。

加治丘陵山林管理グループの皆様一日も早くこの私達の現状を見て足元の「ひさかき」や空カン等を処理して頂き、散策者にすがすがしい夏の私達をめでいていただきたいと思っています・・・

なんて、丘陵林たちは言っているのではないかと!!

今日も加治丘陵へGO!

K T 生

お知らせ・イベント情報

●刈払い機、チェーンソー取扱研修(予告)

7月22日(日) 農村環境改善センター内
山林管理事務所及び加治丘陵山林内

●第5回森林視察研修会(予告)

9月2日(日) 5周年記念事業の一環として、妙義山の山林視察と旧富岡製糸所の見学を予定しています。(群馬県)

入会のお誘い

当グループでは、加治丘陵の保全と環境に関心のある方(正会員)、及び企業(賛助会員)を募集しています。

— 会員になって活動を支えて下さい。 —

- 我々はボランティアで活動しています。
- 約220人の会員が汗を流して頑張っています。
- 年会費 正会員(個人) 2,000円
賛助会員(会社又は団体) 1口10,000円
- 加入連絡先 04-2932-4515 (清水徳三)



平成18年度研修(名郷地区)

編集後記

盛夏を迎え、山の緑も一段と濃くなってきました。会員一同、山林活動に良い汗を流して作業を進めております。6月第5回通常総会にあわせて、5周年記念事業の一環として記念講演と記念写真展が実施された。創立から、5年間当グループのためにリーダーシップを発揮された小沢理事長が、総会をもって退任された。今後も会の良きアドバイスをお願いします。清水新理事長のもと、より堅実なグループとして発展をするため、皆様の応援をお願いします。

(広報委員長 山畑 記)